



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年11月24日朝刊

ニュースのヒット

世界一貧しい元大統領

ムヒカさん 政治家引退

南アメリカの国ウルグアイで2010年から5年間、大統領を務め、「世界一貧しい大統領」と言われたホセ・ムヒカさん(85)が政治家を辞めると発表しました。

30歳代のころ、ムヒカさんは政府への反対活動で何度も捕まりましたが、25年ほど前に国会議員になりました。大統領になっても専用の屋敷に住まず、首都郊外の農場の家で暮らして給料の多くを、貧しい人たちのため寄付していました。

財産は農場と古い自動車ぐら

い。時間があると農作業をする質素な生き方に、国民の人気が高まりました。大統領としても国内の経済を成長させ、外交では、アメリカとキューバの対立をなくすように動いたそうです。

ムヒカさんは2012年の国際会議で、お金や物を求める社会を批判し「生活を見直そう」と訴えて注目されました。2016年に日本を訪問。原子爆弾を落とされた広島市の原爆資料館で「私たちは過去の過ちから学んだらどうか」と書き残しました。日本の若者にも講演



2016年に日本に来たとき、笑顔でインタビューに答えるウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカさん

し、人生で大切なのは「勝利ではなく、転んでも起き上がること」と話しています。

①南アメリカのウルグアイの場所を地図で確認しましょう。ウルグアイを挟んでいる2ヶ国はどこか書きなさい。

(**ブラジル**)、(**アルゼンチン**)

②ムヒカさんが「世界一貧しい大統領」といわれるのはなぜですか。記事から探して書きなさい。

(**(大統領公邸に住まず)郊外の農場の家で暮らしているから。**
給料の多くを貧しい人たちのために寄付しているから。
財産は農場と古い自動車ぐらいだから。)

③実はムヒカ氏は、銀行襲撃や政治家誘拐で服役したこともある元ゲリラ闘士である。「生活を見直そう」、「(人生で大切なのは)勝利ではなく、転んでも起き上がること」などの彼の言葉についてどう思うか。書きなさい。

人々が豊かさを求め、失ってしまったものがあるのではないか。
刑務所に入ったことがある人でも大統領になれるなんて...
風変わりだけど、自然体の人 など

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 塚本学(常葉大学付属常葉中学・高校 教諭) (中学校~高校/社会、国語、総合、生活、道徳・特別活動)